



陸軍三等軍醫正從六位勲五等大内 雄蔵
特旨ヲ以テ位一級被進

從六位勲五等大内 雄蔵

敘正六位

右謹テ奏ス

明治三十年五月十一日

内

閣

内閣總理大臣臨時代理

樞密院議長伯爵黒田清隆布

此の由事可なり我は用事あり

明治三十年五月

内閣總理大臣代布

内閣書記官長

月十一日達済

陸軍三等軍医正役六位勲五等大内雄蔵ハ高等官在職
滿十九年以上ニシテ勤勞不少者ニ有之候處目下病
氣危篤ニ趣ニ付叙位進階内則第五條ニ依リ陸
軍大臣奏請ノ通特旨ヲ以テ位一級進メテ
然ルヘシ

内閣

キ一ニ〇

陸軍三等軍醫正從六位勲五等 大内雄藏
右多年軍務ニ從事シ勤勞成績不尠者ニ有之候處
目下病氣危篤殆ント快復、目途無之ニ付特旨ヲ以テ
位一階進メラレ正六位ニ叙セラレ度
謹テ奏ス

明治三十年五月十日

陸軍大臣子爵高嶋鞆之助



陸軍省

位三三三

別紙陸軍三等軍醫正大内雄藏特旨進位ノ
件ヲ進達ス

明治三十年五月十日

陸軍大臣子爵高嶋鞆之助



内閣総理大臣臨時代理

樞密院議長伯爵黒田清隆殿

陸軍省